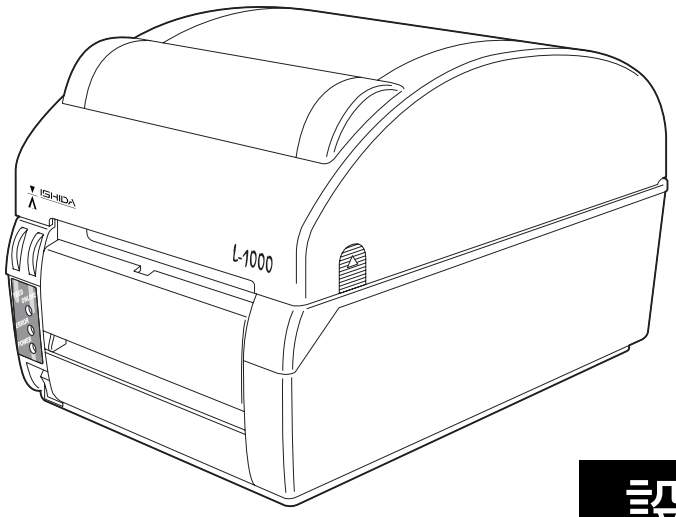
ISHIDA

パーソナルラベルプリンタ

L-1000



設定ツール取扱説明書

株式会社イシダ

本取扱説明書の内容は、予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

目次

はじめに 2

おねがい.....2

1　使用環境 3

2　L-1000 設定ツールの起動方法.....4

3　L-1000 設定ツールメニュー 5

4　取扱説明書メニュー.....6
4.1　取扱説明書メニュー画面 6
4.2　Adobe Readerのインストール.....7

5　簡単セットアップ 9

6　詳細設定 12
6.1　ネットワーク設定.....12
6.2　基本動作設定 13
6.3　デフォルト値設定 15
6.4　メニュー項目.....17
6.5　プリンタ選択 21
6.6　プリンタの追加・編集 22
6.7　パソコン側のシリアル通信設定 24

7　インストールメニュー 25
7.1　インストールメニュー画面 25
7.2　プリンタドライバのインストール 26
7.3　バーコードOLEサーバのインストール 27
7.4　L-1000 設定ツールのインストール 28

8　ドライバのダウンロード 30

9　エラー一覧 31

はじめに

このたびは「L-1000設定ツール」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
「L-1000設定ツール」とは、パーソナルラベルプリンタ L-1000（以下プリンタと略します）に関連するマニュアル類の閲覧や、ドライバ類のインストールおよびプリンタの設定を行うソフトです。特にプリンタの設定を行うには、プリンタ自体に操作パネルがありませんので、この設定ツールを使用して各種設定を行ってください。

おねがい

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成していますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申しあげます。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えします。最寄りの弊社販売店までご連絡ください。
- 機器、システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップなどの副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

・Microsoft®およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
・Adobe Reader、AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

©2012 株式会社イシダ

1　使用環境

本製品は以下のシステムおよび環境でご使用できます。

ソフトウェア

日本語 Windows Vista Home Basic/ Home Premium/ Business/ Enterprise/ Ultimate

日本語 Windows 7

日本語 Windows 8

注）　Windows英語版では使用できません。

推奨するハードウェア

OS環境（日本語）	Microsoft Windows Vista Microsoft Windows 7 Microsoft Windows 8
パソコン本体	PC/AT（互換機） Pentium 1.5 GHz以上
メモリ	1 GB以上
ハードディスク空き容量	5 GB以上

対象プリンタ

パーソナルラベルプリンタ L-1000

2　L-1000設定ツールの起動方法

ここでは、「L-1000設定ツール」の起動方法について説明します。

1　コンピュータを起動します。

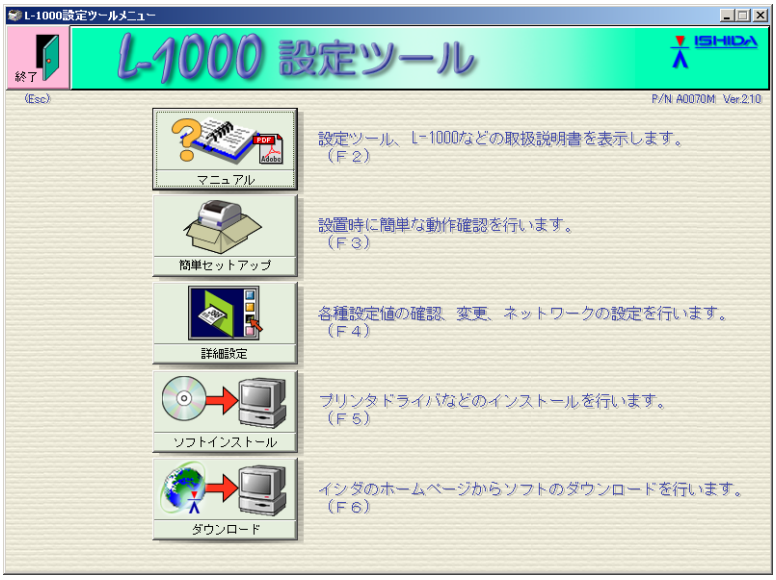
2　光学ドライブに、付属のCD-ROM「L-1000設定ツール」をセットします。

しばらくすると「L-1000設定ツール」が起動し、メニュー画面が表示されます。

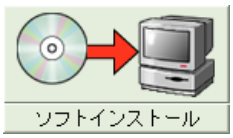
「L-1000設定ツール」が起動しない場合はマイコンピュータを開いて、CD-ROMをセットした光学ドライブをダブルクリックしてください。

3　L-1000設定ツールメニュー

ここでは、「L-1000設定ツールメニュー画面」の表示内容と操作方法について説明します。
「L-1000設定ツール」を起動すると、L-1000設定ツールメニュー画面が表示されます。



各ボタンについて説明します。

ボタンの種類	ボタン操作の内容
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F2」キーを押すと、取扱説明書の選択画面が表示されます。L-1000の操作説明や、「L-1000設定ツール」に付属されています各種ソフトの操作説明などを見ることができます。 取扱説明書の選択画面の内容については、6ページ「4　取扱説明書メニュー」を参照してください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F3」キーを押すと、ディップスイッチの設定を確認する画面が表示されます。初めてプリンタを使用するときに最初に一度だけ行います。お客様で使用されるラベルを使って簡単なラベル位置合わせを行うと同時に、パソコンとプリンタが正常に接続されているかどうかを確認します。LAN接続時はIPアドレス設定も行います。本ボタンをクリックしての操作内容については9ページ「5　簡単セットアップ」を参照してください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F4」キーを押すと、プリンタの選択画面が表示されます。コンピュータに接続しているL-1000の詳細な設定を行うことができます。本ボタンをクリックしての操作内容については、12ページ「6　詳細設定」を参照してください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F5」キーを押すと、インストール画面が表示されます。L-1000のプリンタドライバや「L-1000設定ツール」に付属されているソフトのインストールを行うことができます。インストール画面の内容については、25ページ「7　インストールメニュー」を参照してください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F6」キーを押すと、ダウンロード画面が表示されます。弊社ホームページよりソフトをダウンロードすることができます。本ボタンをクリックしての操作内容については、30ページ「8　ドライバのダウンロード」を参照してください。
	本ボタンをクリックすると、「L-1000設定ツール」を終了します。

4　取扱説明書メニュー

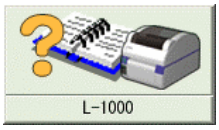
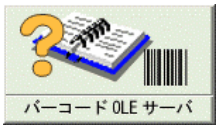
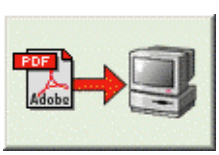
4.1　取扱説明書メニュー画面

この画面より、見たい取扱説明書のボタンをクリックして取扱説明書を参照することができます。

参考

取扱説明書は全てPDFファイルです。
PDFの表示ソフトをお持ちでない場合は、7ページ「4.2 Adobe Readerのインストール」を参照して表示ソフトを事前にインストールしておいてください。

各ボタンについて説明します。

ボタンの種類	ボタン操作の内容
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F2」キーを押すと、L-1000取扱説明書のPDFが表示されます。 L-1000の操作、設定、メンテナンスなどの方法について記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F3」キーを押すと、コマンドリファレンス取扱説明書のPDFが表示されます。 L-1000で使用できるコマンドについて記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F4」キーを押すと、インターフェース取扱説明書のPDFが表示されます。 L-1000のインターフェースについて記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F5」キーを押すと、プリンタドライバ取扱説明書のPDFが表示されます。 コンピュータにインストールする「L-1000のプリンタドライバ」について記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F6」キーを押すと、バーコードOLEサーバ取扱説明書のPDFが表示されます。 バーコード作成時に使用するソフト「バーコードOLEサーバ」について記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F7」キーを押すと、L-1000設定ツール取扱説明書のPDFが表示されます。 「L-1000設定ツール」の使用方法について記載した取扱説明書です。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F8」キーを押すと、Adobe Readerのインストールが開始されます。 コンピュータにPDFファイルを表示するソフトがインストールされていない場合は、本ボタンをクリックしてインストールを行ってください。本ボタンをクリックしての操作内容については、7ページ「4.2 Adobe Readerのインストール」を参照してください。
	本ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

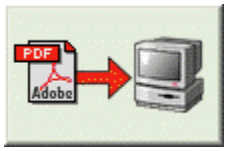
4.2 Adobe Reader のインストール

PDFファイルを表示するのに必要なAdobe Readerのインストール方法について説明します。

参考

Adobe Readerをインストールするときは付属のCD-ROMからインストールしてください。
コンピュータにインストールした設定ツールからAdobe Readerをインストールすることはできません。

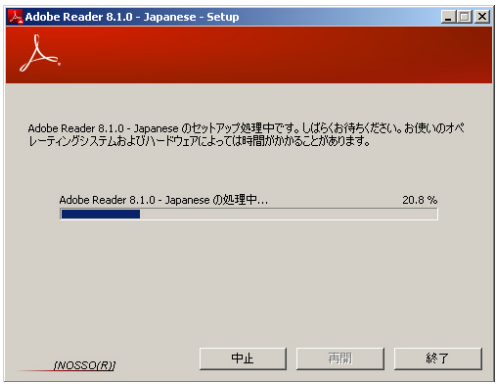
1 Adobe Readerをインストールするボタンをクリックします。



インストール画面が表示されます。

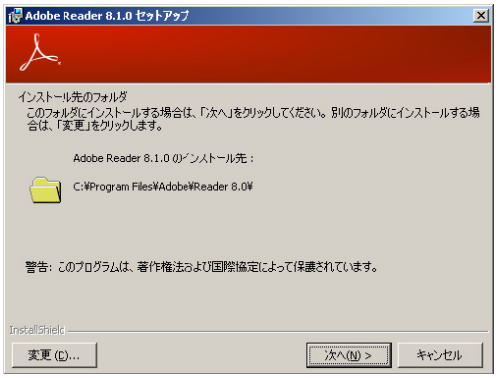
2 インストールの準備を行なっています。

そのまましばらくお待ち下さい。



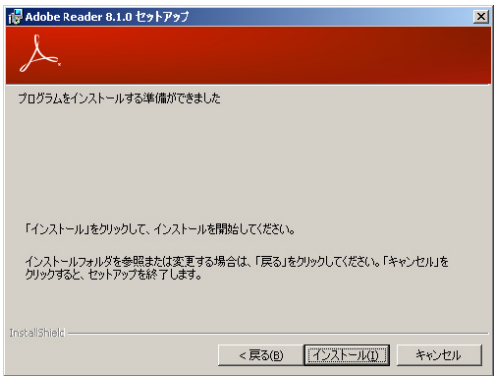
3 「次へ(N)＞」ボタンをクリックします。

必要に応じて、インストール先のフォルダを変更することができます。



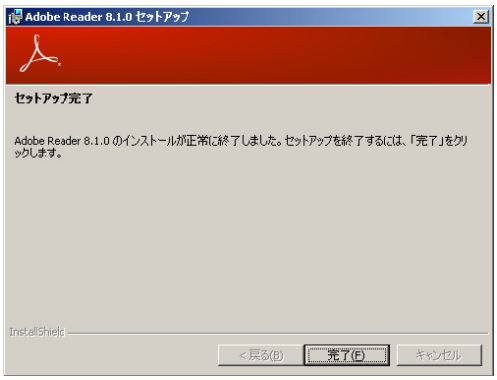
4 「インストール(I)」ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。



5 インストール完了後、「完了(F)」ボタンをクリックします。

インストールが終了すると、インストールの完了を知らせる画面が表示されます。
「完了(F)」ボタンをクリックして、インストール作業を終了します。



5　簡単セットアップ

初めてプリンタを使用するときに、一度だけ行います。簡単セットアップを実行することにより、プリンタとの接続を確認し、プリンタの動作確認（テスト発行）およびラベルの位置合わせ（空送り）を行います。

1　L-1000をコンピュータに接続します。

参考
USBに接続する場合、OSに、既に標準USBドライバが含まれていますので、プリンタとパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、標準USBドライバが自動的にインストールされます。

【USBに接続する場合】

コンピュータを起動し、L-1000とコンピュータをUSBケーブルで接続します。

初めてお使いの場合は、USBドライバインストール画面が表示されることがあります。

【シリアル・パラレルに接続する場合】

コンピュータの電源がOFFの状態のときにL-1000を接続し、コンピュータを起動します。

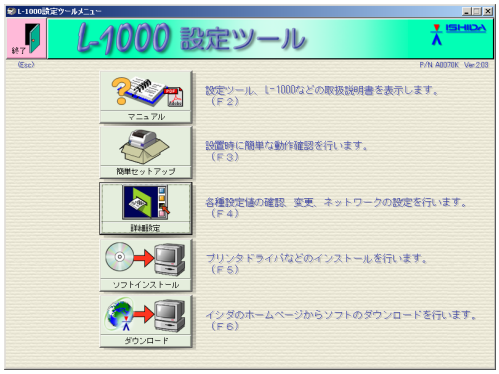
【LANに接続する場合】

L-1000とコンピュータをLANケーブルで接続します。

2　「簡単セットアップ」ボタンをクリックします。

参考
キーボードより、「F3」キーを押しても、同様の操作となります。

ディップスイッチの設定を確認する画面が表示されます。



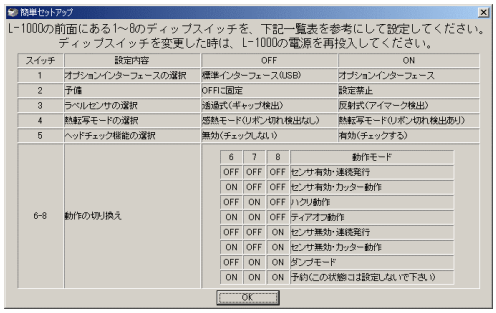
3　ディップスイッチを確認して、「OK」ボタンをクリックします。

ディップスイッチを変更した場合は、L-1000の電源を再投入します。

インターフェース設定画面が表示されます。

USB接続しており、接続が正常な場合はラベルセンサの感度調整およびテスト発行画面が表示されますので、手順6に進んでください。

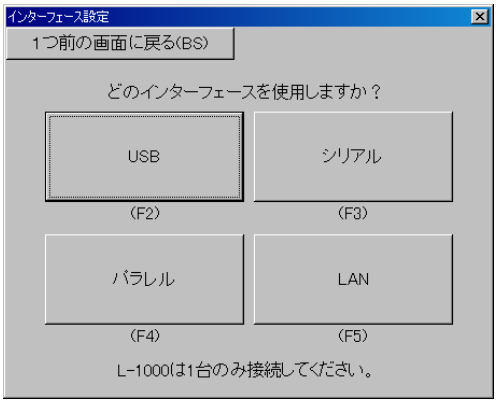
LAN接続しており、接続が正常な場合はネットワークの設定画面が表示されますので、手順5に進んでください。



参考
「1つ前の画面に戻る」ボタンまたはキーボードの「BackSpace」キーを押すと、1つ前の画面に戻ります。

4 コンピュータとL-1000を接続しているインターフェースのボタンをクリックします。

USBもしくはLAN接続しているのにこの画面が表示された場合は、接続が正しいか、または電源が入っているかを確認して、再度「USB」もしくは「LAN」ボタンをクリックしてください。



【例】シリアル接続している場合

接続しているインターフェースについての設定画面が表示されます。

5 インターフェースの設定を行います。

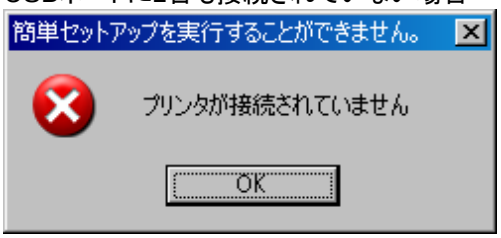
接続しているインターフェースによって設定内容は異なります。

【USB接続の場合】

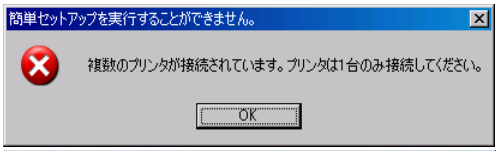
① 接続が正常な場合、ラベルセンサの感度調整およびテスト発行画面が表示されますので、次の手順に進んでください。

接続に異常がある場合、エラーメッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックすると、インターフェースの設定画面に戻りますので、接続を確認して手順4より再度操作してください。

USBポートに1台も接続されていない場合



USBポートに複数台接続されている場合

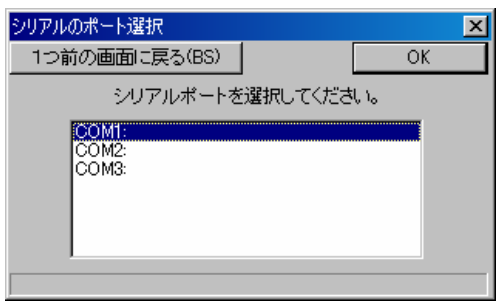


【シリアル接続(RS-232C)の場合】

参照
シリアルの詳細設定については、24ページ「6.7 パソコン側のシリアル通信設定」を参照してください。

① インターフェースのディップスイッチの設定状態が表示されますのでL-1000背面にある実際のディップスイッチを確認し、画面上のディップスイッチまたは表中の“ON”、“OFF”を操作して「OK」ボタンをクリックします。シリアルポート選択画面が表示されます。

② 接続しているシリアルポートをリスト欄から選択して反転表示し、「OK」ボタンをクリックします。
接続が正常な場合、ラベルセンサの感度調整およびテスト発行画面が表示されます。



【パラレル接続の場合】

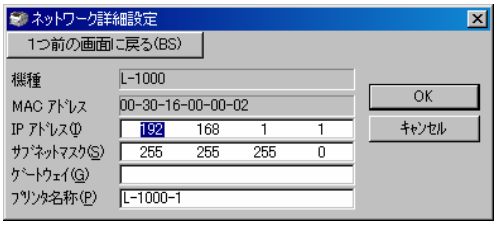
① 接続が正常な場合、ラベルセンサの感度調整およびテスト発行画面が表示されます。

参考
ゲートウェイを使用しない場合は、空欄もしくはオールゼロを登録してください。

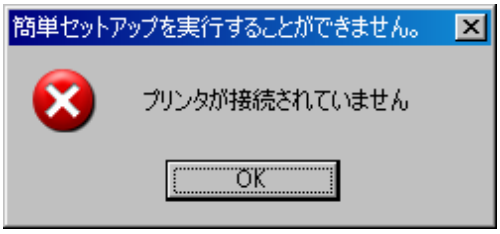
【LAN接続の場合】

① 接続が正常な場合、ネットワーク詳細設定画面が表示されます。
ネットワークを設定して「OK」ボタンをクリックします。ラベルセンサの感度調整およびテスト発行画面が表示されます。

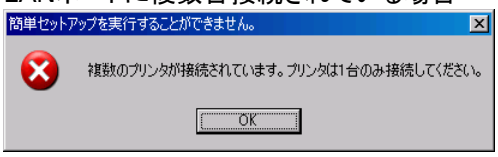
接続に異常がある場合、エラーメッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックすると、インターフェースの設定画面に戻りますので、接続を確認して手順4より再度操作してください。



LANポートに1台も接続されていない場合



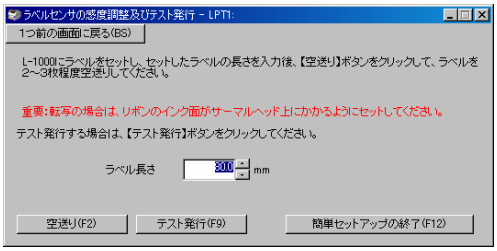
LANポートに複数台接続されている場合



注 意
転写式でご使用の場合はテスト印字を行う前に、熱転写リボンのカーボン部分がサーマルヘッドの上にあることを確認してください。カーボン部分以外のまま印字を行うと、サーマルヘッドがヘッド破損を起こすおそれがあります。

6 ラベルの長さを設定し、テスト印字を行います。

① セットしているラベル1枚分の長さを「ラベル長さ」入力欄にキーボードにて数値入力します。
② 「空送り」ボタンをクリックしてラベルを2、3枚空送りします。
③ 「テスト発行」ボタンをクリックしてテスト印字を行います。



参照
詳細説明については、12ページ「6 詳細設定」を参照してください。

7 ラベルの発行状態を確認し、終了します。

ラベルの印字・発行状態を確認して、「簡単セットアップの終了」ボタンをクリックします。
現在の表示画面を閉じ、メニュー画面に戻ります。
印字位置がずれていたり、発行の停止位置に異常のある場合は、メイン画面にて「詳細設定」ボタンをクリックしてラベルの用紙設定を行ってください。

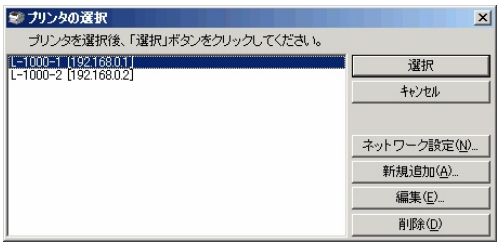
6　詳細設定

通常は簡単セットアップを行うだけですぐに使用することができますが、詳細設定では印字位置調整や幅・濃度などの設定を細かく設定できます。

6.1　ネットワーク設定

ここでは、コンピュータにLAN接続している1台または複数台の本機のネットワーク設定手順について説明しています。
LAN接続（オプション）している場合のみ、設定可能です。

1　プリンタの選択画面にて「ネットワーク設定（N）」ボタンをクリックします。



ネットワークの設定画面が表示され、コンピュータに接続しているL-1000のネットワーク情報が一覧表示されます。
接続しているL-1000がない場合は、画面下にエラーメッセージが表示されますので、接続を確認して「最新の情報に更新（F5）」ボタンまたはキーボードから「F5」キーを押してください。
また、一覧の「ステータス」欄に“オフライン”と表示された機種の設定を行う場合は、実機の「ONLINE」ボタンを押してオンラインにした後に「最新の情報に更新（F5）」ボタンまたはキーボードから「F5」キーを押して“待機中”の表示に切り換えてください。

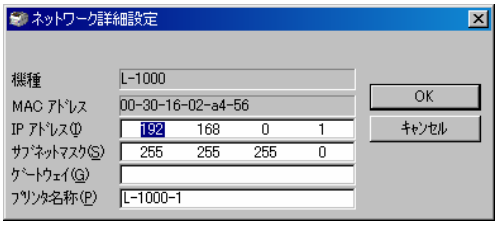
2　一覧からネットワークの設定を行う機種を選択します。

ネットワーク詳細設定画面が表示されます。

3　各項目を設定します。

参考
ゲートウェイを使用しない場合は、空欄もしくはオールゼロを登録してください。

・IPアドレス
・サブネットマスク
・ゲートウェイ
・プリンタ名称



4　設定内容を確認し、「OK」ボタンをクリックします。

ネットワークの設定画面に戻ります。

5　「送信（F12）」ボタンをクリックして変更内容を更新します。

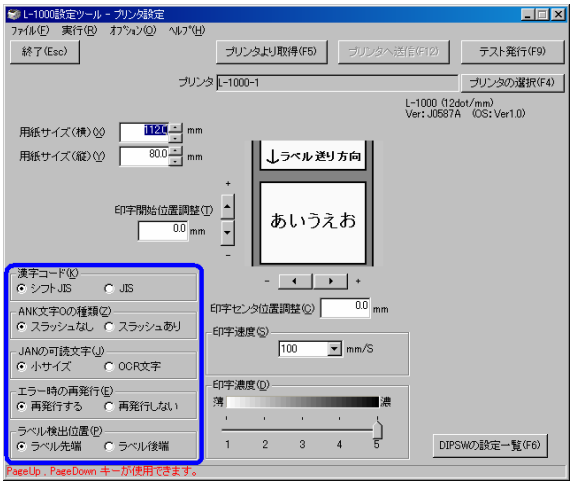
「送信（F12）」ボタンをクリックすると、IPアドレス情報を接続されているすべてのプリンタに対して送信します。

6　終了します。

「終了」ボタンをクリックし、プリンタの選択画面に戻ります。

6.2　基本動作設定

ここでは、プリンタの基本動作を設定する項目について説明しています。



各項目について説明します。

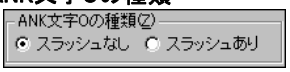
漢字コード

：　アプリケーションからプリンタに対して送信される漢字コードの種類を、シフトJIS／JISから選択できます。デフォルトはシフトJISになっています。お使いのアプリケーションがJISコードで出力している場合は、ここをJISに切り替えてご使用ください。

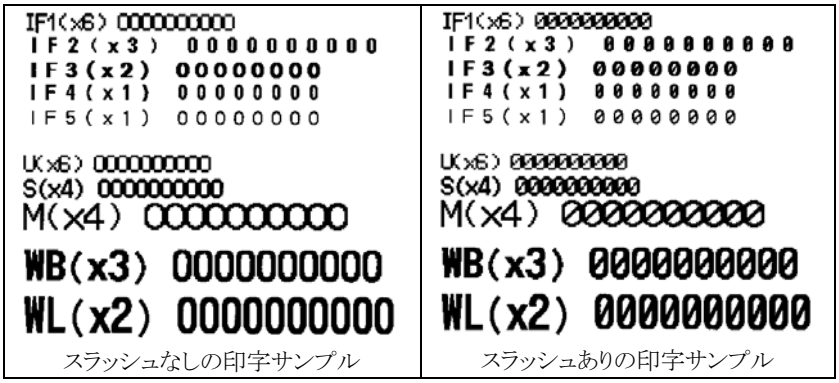
参考

お使いのアプリケーションが、どちらの漢字コードを使用しているかわからない場合で、半角の英数字記号は正常に印字できるが、漢字だけ文字化けを起こすような場合は、JISコードで送信されている可能性がありますので、ここの設定を【JIS】に変更してみてください。

ANK文字0の種類



：　ANK文字の0(ゼロ)の書体を、スラッシュなし／スラッシュありから選択できます。
L-1000に内蔵の半角数字のうち、ゼロだけ2種類のフォントを持っています。

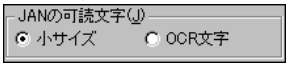


スラッシュなしとスラッシュありから選択できます。デフォルトはスラッシュなしになっています。

参考

内蔵フォントの半角数字のみに有効です。

JANの可読文字

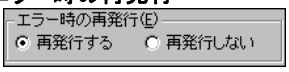


：JANの可読文字のフォントを、OCR文字／小サイズから選択できます。
JANバーコードを印字する際、バー下部に印字する可読文字は、以下の2種類のフォントから選択することができます。

小サイズの印字サンプル　　OCR文字サイズの印字サンプル

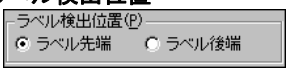
小サイズとOCR文字サイズから選択できます。デフォルトは小サイズになっています。

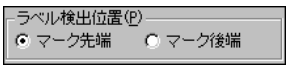
エラー時の再発行



：プリンタでラベルを発行中にエラー（ラベル切れ・リボン切れなど）が発生した後、正常な状態に戻して（ラベル装填・リボン装填など）から【ONLINE】キーを押したとき、エラーが発生したときのラベルを自動的に再発行するかどうかを設定します。デフォルトでは【再発行する】になっています。

ラベル検出位置

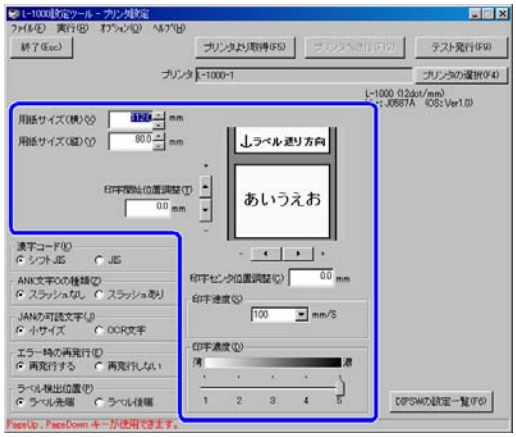




：ラベルセンサの動作として、ラベルの先端を検知するか後端を検知するか（透過センサ使用時）、もしくはマークの先端を検知するか後端を検知するか（反射センサ使用時）を切り替えることができます。
透過式の場合は、ラベル先端／ラベル後端から選択します。
反射式の場合は、マーク先端／マーク後端から選択します。
特殊なラベルを使用して、ラベルセンサが正常にラベル（もしくはアイマーク）を検出できないときに、この設定を変更することがあります。

6.3　デフォルト値設定

デフォルト値設定とは、ラベル発行時にアプリケーションから指定されなかった場合に使用される設定値のことをいいます。
ここでは、デフォルト値の各項目について説明しています。

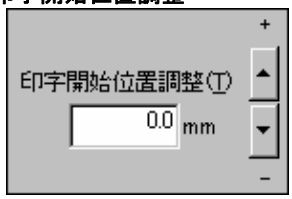


各項目について説明します。

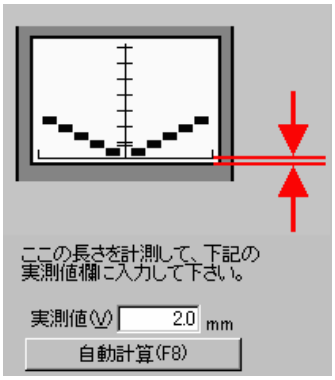
用紙サイズ

：ラベルサイズを0.1mm単位で設定できます。
設定可能範囲は以下のようになります。
横:1.0～112.0mm
縦:1.0～500.0mm（8mm/dot）
　1.0～400.0mm（12mm/dot）

印字開始位置調整



：印字開始位置を0.1mm単位で設定できます。
設定可能範囲は以下のようになります。
印字開始位置:-30～30mm
テスト発行後にこの入力欄にカーソルを配置すると、以下の画面が追加表示されます。

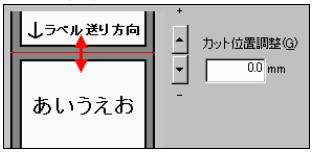


画面に示されたラベルにおいて、指定部分の長さを測定し、実測値を入力して「自動計算」ボタンをクリックすると、開始位置が自動調整されます。

印字センタ位置調整

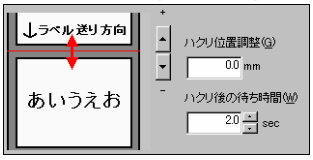
：印字センタ位置を0.1mm単位で設定できます。
設定可能範囲は以下のようになります。
印字センタ位置:-112.0～112.0mm

カット位置調整



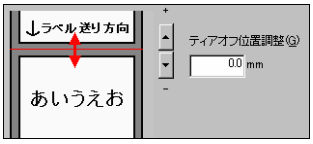
：カット位置を0.1mm単位で設定できます。
動作モードで「カッター動作」が指定されている場合のみ表示されます。
設定可能範囲は以下のようになります。
カット位置:-30.0～30.0mm

剥離位置調整と剥離後の待ち時間



：剥離位置を0.1mm単位、剥離後の待ち時間を0.1秒単位で設定できます。
動作モードで「ハクリ動作」が指定されている場合のみ表示されます。
設定可能範囲は以下のようになります。
ハクリ位置：-30.0～30.0mm
ハクリ後の待ち時間：0.0～10.0sec

ティアオフ位置調整

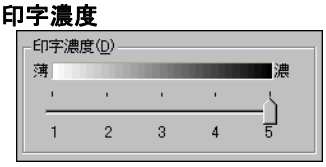


：ティアオフ位置を0.1mm単位で設定できます。
動作モードで「ティアオフ動作」が指定されている場合のみ表示されます。
設定可能範囲は以下のようになります。
ティアオフ位置：-30.0～30.0mm

印字速度

：印字速度を25mm/s単位で設定できます。
設定可能範囲は以下のようになります。
印字速度：25～150mm/s（8mm/dot）
25～125mm/s（12mm/dot）

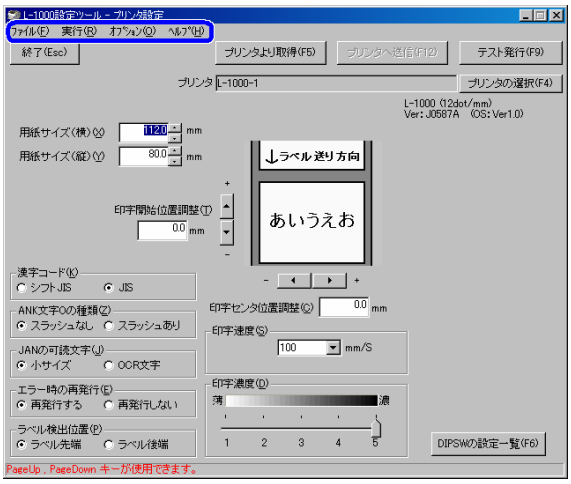
印字濃度



：印字濃度を1～5の5段階で設定できます。

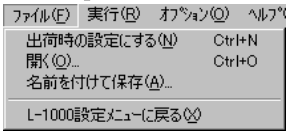
6.4　メニュー項目

ここでは、詳細設定画面のメニュー項目について説明しています。



各メニューについて説明します。

[ファイル]メニュー



：「出荷時の設定にする(N)」

いろいろな設定を変更しているうちに、間違った設定をしてしまうなどで、プリンタの動作がおかしくなることがあります。ファイルメニューにある【出荷時の設定にする】を実行すると、お客様がプリンタを購入したときの状態にすることができます。

参考

それまでに設定した情報は、全て削除されてしまいます。必要な情報は、あらかじめ控えをとっておくか、後述のファイル保存をしておくことをお勧めします。

「開く(O)」

保存されている設定ファイルを読み込むときに選択します。

「名前を付けて保存(A)」

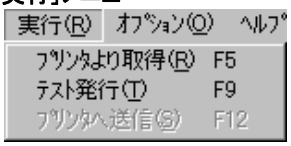
現在の設定をファイルに保存するときに選択します。

1つのプリンタで行った設定情報を「名前を付けて保存(A)」でファイルに保存後、別のプリンタを選択してから、保存しておいたプリンタ設定情報を「開く(O)」で読み込み、そのままプリンタに送信することで、複数のプリンタを全て同じ設定にすることもできます。

「L-1000設定メニューに戻る(X)」

設定を更新せずに、CD-ROM起動時のメイン画面まで戻ります。

[実行]メニュー



：「プリンタより取得(R)」

「プリンタ」欄で選択しているL-1000から最新情報を取得して、その内容を表示します。

プリンタより取得(F5)　ボタンも同様の内容です。

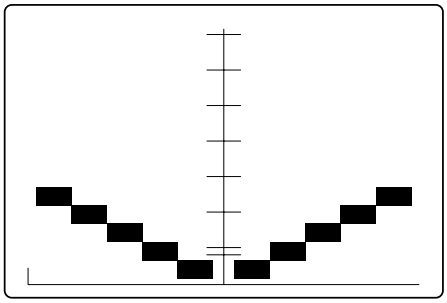
「プリンタへ送信(S)」

この画面にて設定変更した内容をL-1000に送信します。設定を変更した場合のみ、選択可能になります。

プリンタへ送信(F12)　ボタンも同様の内容です。

「テスト発行(T)」

設定変更した内容を一時的にL-1000に送信し、その内容でテストラベルを発行します。発行後、発行の完了画面が表示されますので「OK」ボタンをクリックします。

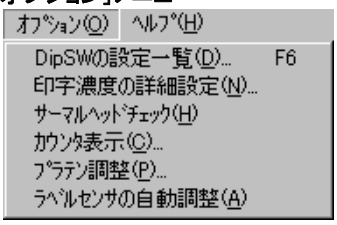


テスト発行(F9) ボタンも同様の内容です。

参考

テスト発行後、L-1000は設定変更した状態のままになっていますが、そのまま電源を切ってしまうと、元の状態に戻ってしまいます。変更した設定を記憶させる場合は、必ず「プリンタへ送信」を行ってください。

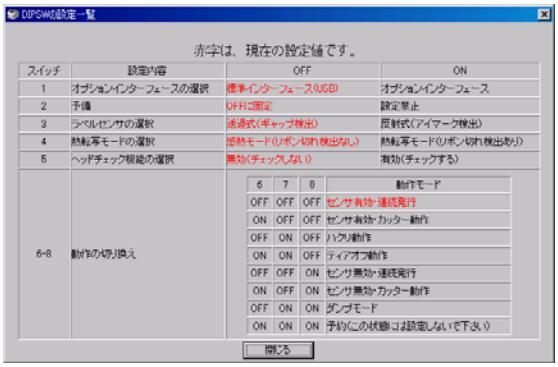
[オプション]メニュー



: 「DipSWの設定一覧(D)」

現在のディップスイッチの設定状態と、各設定内容の詳細説明が表示されます。
現在設定している個所が赤色で表示されています。

DIPSWの設定一覧(F6) ボタンも同様の内容です。



「印字濃度の詳細設定(N)」

画面が表示され、「印字濃度」欄のそれぞれの詳細な濃度調整を行うことができます。

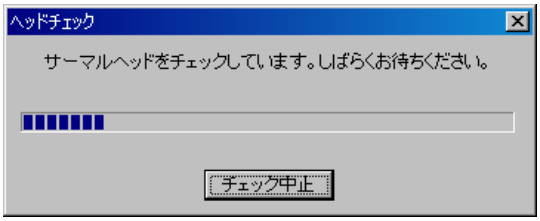
設定変更後、「テスト発行」ボタンをクリックして、印字濃度を確認することもできます。

参考

レベル1～5はそれぞれ、1～100%の間を1%単位で設定することができます。通常はデフォルトの設定のままで十分使用できますが、必要に応じて設定を変更することができます。

「サーマルヘッドチェック(H)」

サーマルヘッドのチェックを開始します。



ヘッド破損がない場合は、「サーマルヘッドは正常です。」と表示されます。

ヘッド破損のメッセージが表示された場合は、サーマルヘッドを交換してください。

参考

通信方法により異なりますが、チェックに数秒かかります。

「カウンタ表示(C)」

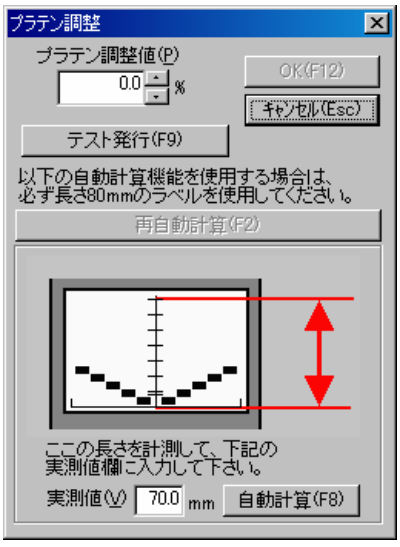
トータルカウンタとカッターカウンタを表示します。

トータルカウンタはヘッドの走行距離を1m単位(表示は0.001km単位)で表示します。

カッターカウンタは、カッター動作のカウント値です。

「プラテン調整(P)」

画面が表示され、プラテンの磨耗による印字位置のずれを0.1%単位で調整することができます。



設定可能範囲は以下のようになります。

プラテン調整:-10.0～10.0%

「テスト発行」ボタンをクリックすると、送り方向に1cm間隔で罫線が印字されたラベルが発行されますので画面に示されたラベルの長さを測定し、実測値を入力して「自動計算」ボタンをクリックすると、自動調整されます。

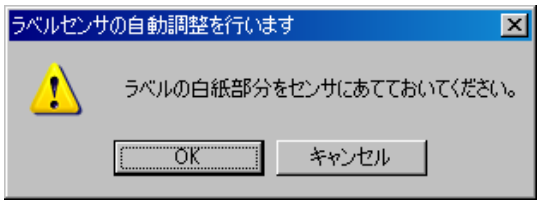
参考

プラテン調整には、縦80mm横115mmの標準ラベルが必要です。

自動計算機能は、プラテン調整値がゼロの時のみ使用することができます。

「ラベルセンサの自動調整(A)」

ラベルセンサの検出感度を自動的に調整します。印字位置調整ができない、ラベルサイズエラーが多発する場合に、この調整を行います。

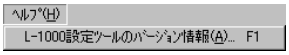


ラベルの白紙部分(台紙にアイマークがある場合はアイマークのない白地部分)をラベルセンサにあてた状態でOKボタンをクリックしてください。
数秒後にブザーが鳴ったら調整完了です。

参考

この操作で調整されるラベルセンサは、本体ディップスイッチで設定されたセンサ(透過センサもしくは反射センサ)のみです。

[ヘルプ]メニュー

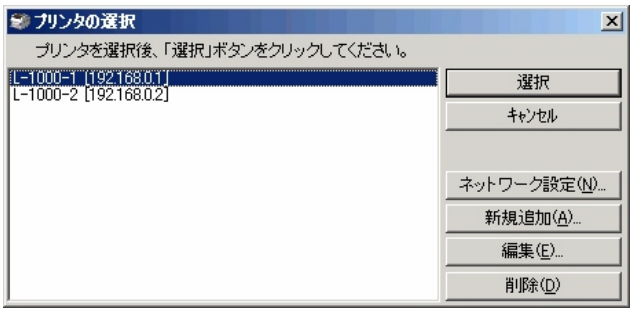


: 「L-1000設定ツールのバージョン情報(A)」

L-1000設定ツール本体(LMenu.exe)のバージョンが表示されます。

6.5　プリンタ選択

ここでは、プリンタ選択画面について説明しています。

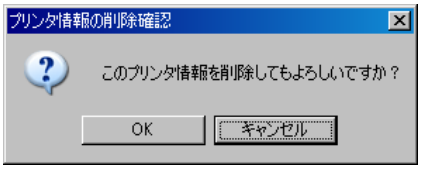


ネットワーク設定(N)...　：　11ページ「6.1　ネットワークの設定」を参照してください。

新規追加(A)...　：　プリンタ情報を新規に追加します。詳細は22ページ「6.6　プリンタの追加・編集」を参照ください。

編集(E)...　：　既に設定されているプリンタ情報を編集します。詳細は22ページ「6.6　プリンタの追加・編集」を参照ください。

削除(D)　：　選択しているプリンタの情報を削除します。



選択　：　選択されたプリンタと接続し、プリンタ設定画面を表示します。

ｷｬﾝｾﾙ　：　選択を中止し、「L-1000設定ツールメニュー画面」に戻ります。

6.6　プリンタの追加・編集

ここでは、プリンタの追加・編集画面について説明しています。新規にプリンタ情報を登録したり、既に登録されているプリンタ情報を編集することができます。

参考
新規追加の場合は、各設定が初期状態になっている以外は、「編集」と同じです。

参考
ここでプリンタ名称を変更すると、プリンタ側のプリンタ名称も自動的に変更されます。

「プリンタ名称の登録(N)」

プリンター覧に表示される名称を登録します。簡単セットアップを行った後は、自動的に登録されていますので、ここで変更することができます。
ここを空欄にしておいて、後述の「接続テスト(T)」を実行すると、既にプリンタに登録されているプリンタ名称を自動的に取得して表示します。プリンタ名称が空欄のまま「接続テスト(T)」を実行せずに「OK」ボタンをクリックすると、ポート番号がそのままプリンタ名称に登録されます。

参考
USBでは、パソコン側の接続する場所を変更すると、ポート番号が変わることがあります。

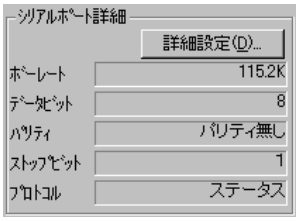
「USBポート(U)」

実際に接続されているUSBポートを自動的に検知してポート番号を表示しています。
表示されているポート一覧から選択してください。

参照
シリアルの詳細設定については、24ページ「6.7　パソコン側のシリアル通信設定」を参照してください。

「シリアルポート(S)」

画面右側に、シリアルポートの設定情報を表示しています。設定を変更・閲覧したい場合は、詳細設定(D)... ボタンを押してください。



参考
パラレルポートでは、LPT1以外のポートを使用することができません。

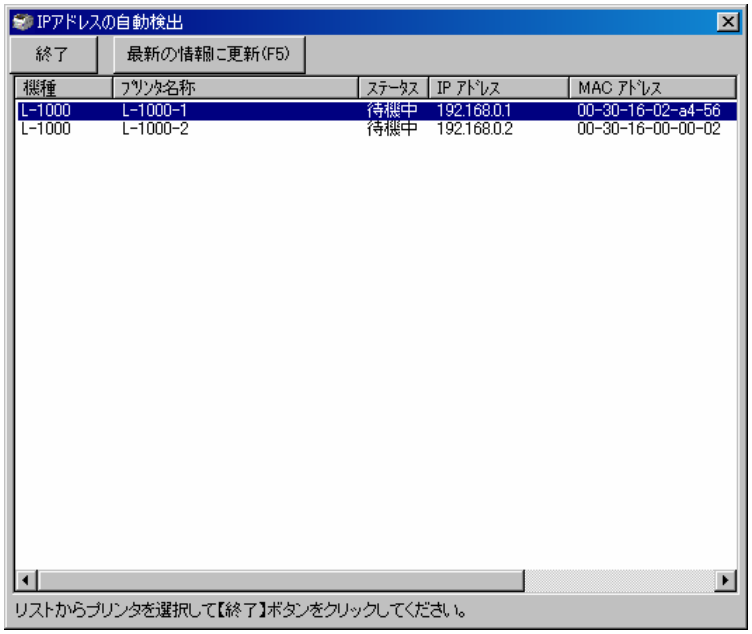
「パラレルポート(P)」

表示されているポート一覧からLPT1を選択してください。

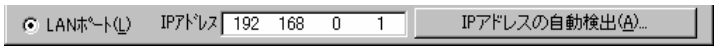
参考
IPアドレスの自動検出を実行する際、プリンタが1台しか接続されていない場合は、検出したIPアドレスが自動的に設定されます。

「LAN(L)」

IPアドレス欄に、IPアドレスを入力してください。IPアドレスが設定されているプリンタがLANに接続されている場合は、IPアドレスの自動検出(A)... ボタンを押すことで、自動的にIPアドレスを設定することができます。LANに複数台のプリンタが接続されている場合は、次の画面が表示されます。



プリンタを選択して 終了 ボタンをクリックしてください。選択したIPアドレスが自動的に採用されます。



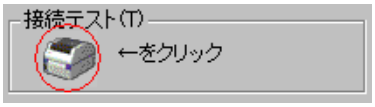
参考
プリンタがオフラインの状態では、既に登録されているプリンタ名称を取得することができません。

「接続テスト(T)」

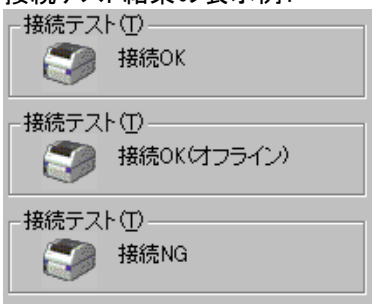
L-1000のアイコンをクリックすることで、接続テストを行うことができます。

プリンタ名称が空欄の場合は、接続テストを実行することにより、既にプリンタに登録されているプリンタ名称を表示します。

接続テストの開始



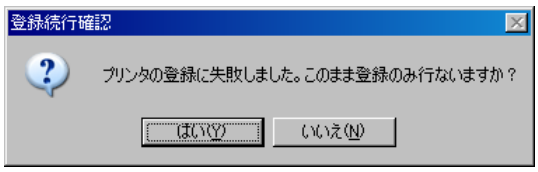
接続テスト結果の表示例:



参考
プリンタがオフラインの状態では、プリンタの登録ができません。必ずオンラインの状態にしてからプリンタを登録してください。

「OK」

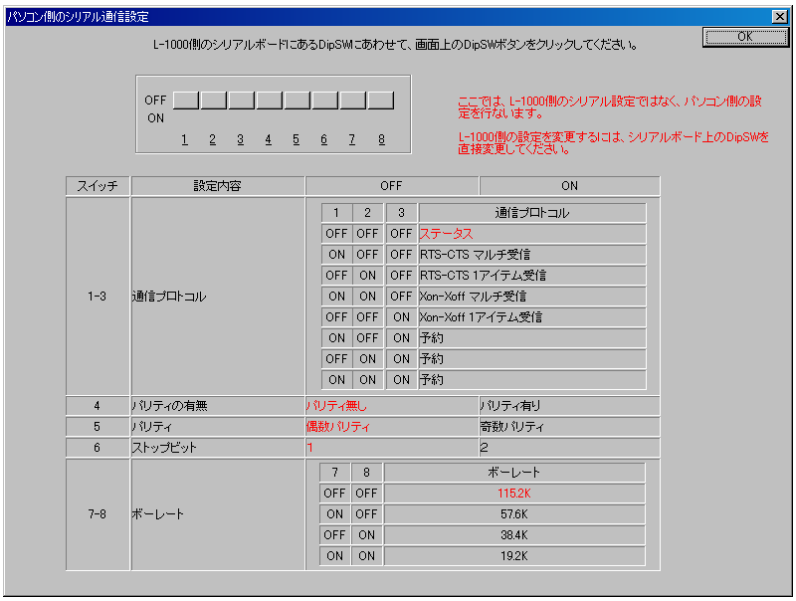
「OK」ボタンをクリックすると、自動的に接続テストを行い、プリンタ名称をプリンタに登録します。接続テストに失敗すると、以下の画面が表示されます。



「はい」を選択すると、プリンタ情報のみ登録することができます。

6.7　パソコン側のシリアル通信設定

ここでは、パソコン側のシリアル通信設定画面について説明しています。



パソコンの設定をシリアルボードのDipSWに合わせる方法は2種類あります。

DipSWをクリックする　：　シリアルボードのDipSWと同じになるようにDipSWをクリックします。

設定内容をクリックする　：　以下の枠で囲まれたところをクリックするだけで、自動的に設定することができます。

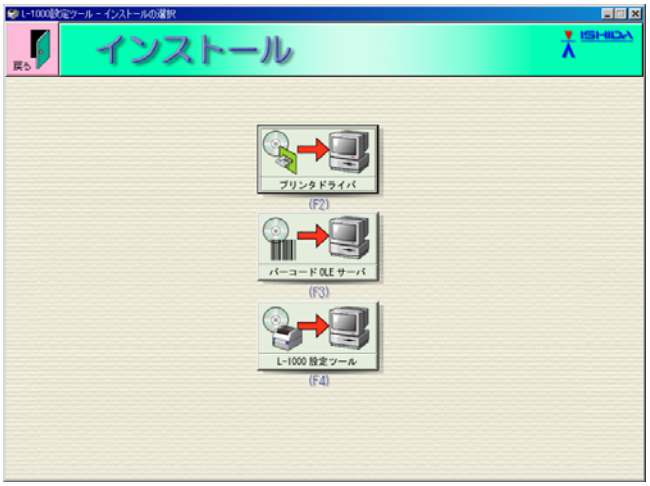
参考

設定可能なところにマウスがくると、マウスカーソルが　に変化します。
この設定後、シリアルボード側のDipSWを、この画面上のDipSWにあわせてください。

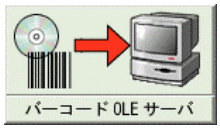
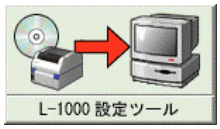
7　インストールメニュー

7.1　インストールメニュー画面

この画面より、L-1000のプリンタドライバや各ソフトをインストールすることができます。



各ボタンについて説明します。

ボタンの種類	ボタン操作の内容
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F2」ボタンを押すと、プリンタドライバのインストール画面が表示されます。 本ボタンをクリックしての操作内容については、26ページ「7.2　プリンタドライバのインストール」を参照してください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F3」ボタンを押すとバーコードOLEのインストール画面が表示されます。 本ボタンをクリックしての操作内容については、27ページ「7.3　バーコードOLEサーバのインストール」を参照してください。
	本ボタンをクリックまたはキーボードより「F4」ボタンを押すと、L-1000設定ツールのインストール画面が表示されます。 本ボタンをクリックしての操作内容については、28ページ「7.4　L-1000設定ツールのインストール」を参照してください。
	本ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

7.2　プリンタドライバのインストール

Microsoft社製のWord等を利用してプリンタからラベルを発行させる場合には、あらかじめプリンタドライバを、お使いのパソコンにインストールする必要があります。
LABEL SHOT 2000/SVを使用して印刷を行う場合は、プリンタドライバは必要ありません。

参考
必ずAdministrator権限でログインしてください。

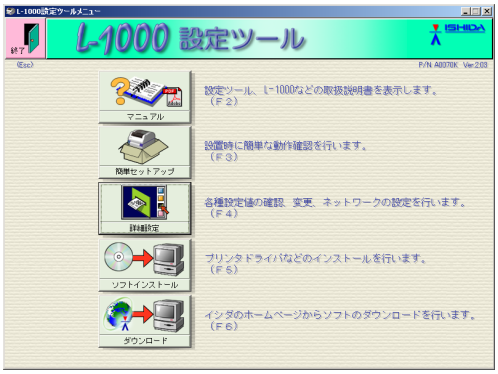
参考
プリンタドライバをインストールするときは付属のCD-ROMからインストールしてください。
コンピュータにインストールした設定ツールからプリンタドライバをインストールすることはできません。

1　コンピュータを起動し、「L-1000設定ツール」を起動します。

コンピュータを起動し、光学ドライブに付属のCD-ROM「L-1000設定ツール」をセットします。
しばらくすると「L-1000設定ツール」が起動し、メニュー画面が表示されます。
「L-1000設定ツール」が起動しない場合はマイコンピュータを開いて、CD-ROMをセットした光学ドライブをダブルクリックしてください。

参考
キーボードより、「F5」キーを押しても、同様の操作となります。

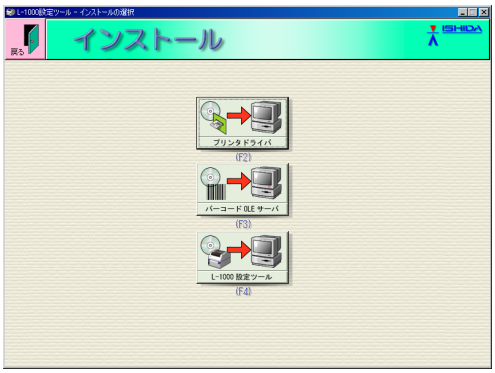
2　「ソフトインストール」ボタンをクリックします。



インストール画面が表示されます。

参考
「戻る」ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

3　「プリンタドライバ」ボタンをクリックします。



プリンタドライバのインストール画面が表示されます。
詳細は、別途「プリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

7.3　バーコード OLE サーバのインストール

Microsoft社製のWord等を利用してプリンタからバーコードのついたラベルを発行させる場合には、あらかじめバーコードOLEサーバを、お使いのパソコンにインストールする必要があります。
LABEL SHOT 2000/SVを使用してラベルを発行する場合は、バーコードOLEサーバは必要ありません。

参考
必ずAdministrator権限でログインしてください。

参考
バーコードOLEサーバをインストールするときは付属のCD-ROMからインストールしてください。
コンピュータにインストールした設定ツールからバーコードOLEサーバをインストールすることはできません。

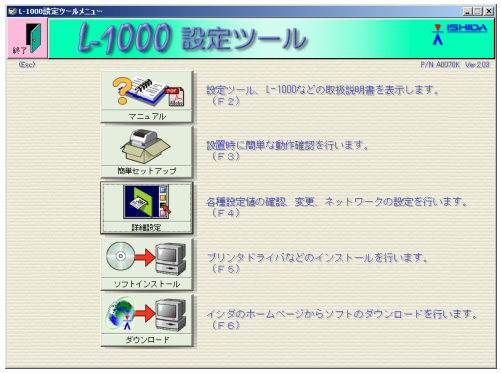
1　コンピュータを起動し、「L-1000設定ツール」を起動します。

コンピュータを起動し、光学ドライブに付属のCD-ROM「L-1000設定ツール」をセットします。
しばらくすると「L-1000設定ツール」が起動し、メニュー画面が表示されます。
「L-1000設定ツール」が起動しない場合はマイコンピュータを開いて、CD-ROMをセットした光学ドライブをダブルクリックしてください。

参考
キーボードより、「F5」キーを押しても、同様の操作となります。

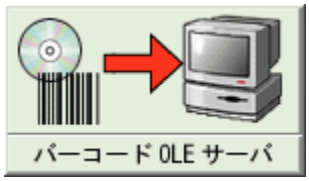
2　「ソフトインストール」ボタンをクリックします。

インストール画面が表示されます。

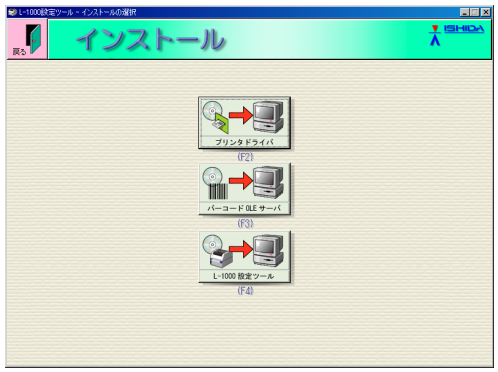


参考
「戻る」ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

3　「バーコードOLEサーバ」ボタンをクリックします。



バーコードOLEサーバのインストール画面が表示されます。
詳細は、別途「バーコードOLEサーバ取扱説明書」をご覧ください。



7.4　L-1000 設定ツールのインストール

コンピュータ側から本機の印字設定を行うための設定ツールをインストールします。

参考
必ずAdministrator権限でログインしてください。

参考
L-1000設定ツールをインストールするときは付属のCD-ROMからインストールしてください。
コンピュータにインストールした設定ツールからL-1000設定ツールをインストールすることはできません。

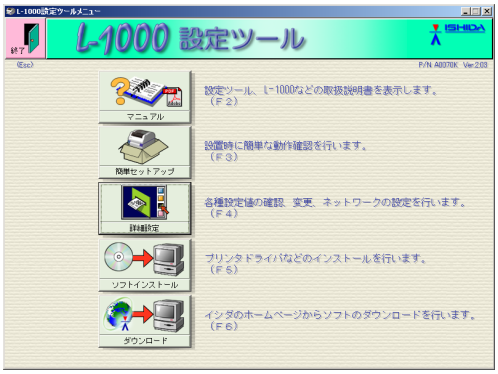
1　コンピュータを起動し、「L-1000設定ツール」を起動します。

コンピュータを起動し、光学ドライブに付属のCD-ROM「L-1000設定ツール」をセットします。
しばらくすると「L-1000設定ツール」が起動し、メニュー画面が表示されます。
「L-1000設定ツール」が起動しない場合はマイコンピュータを開いて、CD-ROMをセットした光学ドライブをダブルクリックしてください。

参考
キーボードより、「F5」キーを押しても、同様の操作となります。

2　「ソフトインストール」ボタンをクリックします。

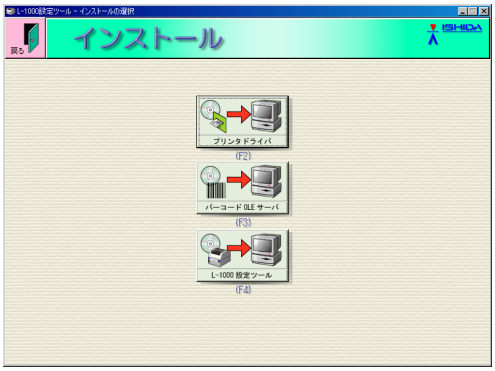
インストール画面が表示されます。



参考
「戻る」ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

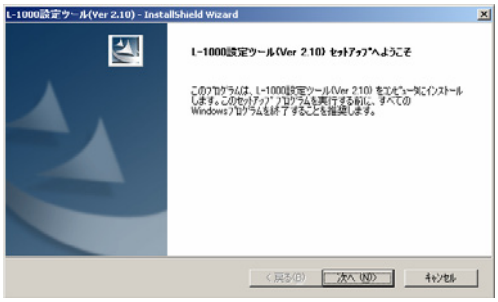
3　「L-1000設定ツール」ボタンをクリックします。

L-1000設定ツールのインストール画面が表示されます。



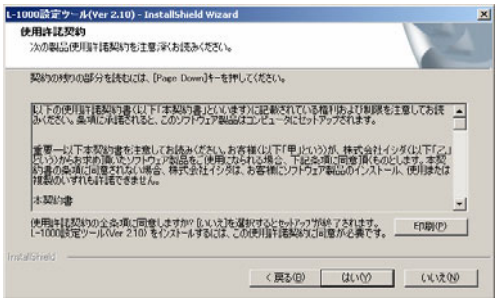
4 「次へ(N)＞」ボタンをクリックします。

使用許諾契約を確認する画面に切り換わります。



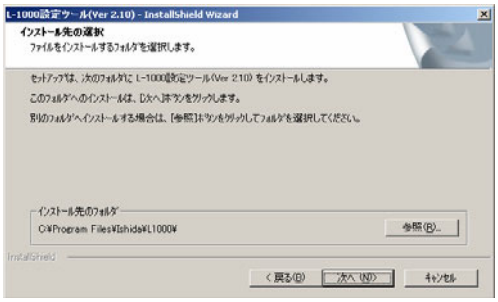
5 使用許諾契約をお読み頂いた後、「はい(Y)」ボタンをクリックします。

インストール開始画面に切り換わります。



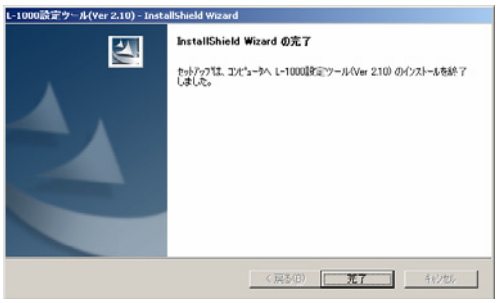
6 インストール先のフォルダを指定した後、「次へ(N)」ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。



7 「完了(F)」ボタンをクリックします。

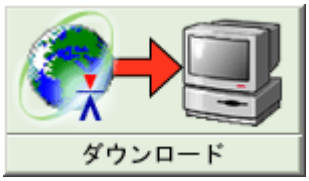
インストールが終了すると、インストールの完了を知らせる画面が表示されます。
「完了(F)」ボタンをクリックして、インストール作業を終了します。



8　ドライバのダウンロード

L-1000のプリンタドライバは随時バージョンアップします。
ここでは、弊社ホームページから最新のプリンタドライバをダウンロードする方法について説明します。

1　「ダウンロード」ボタンをクリックします。

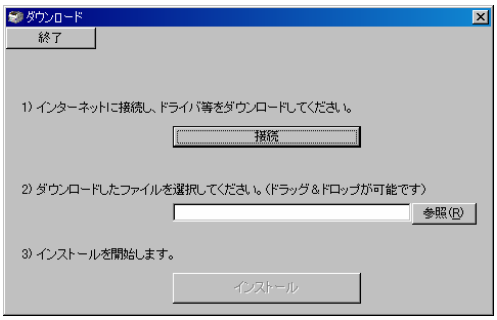


参考

ダウンロードを行うには、お客様でお使いのパソコンに、インターネットに接続するための環境を設定する必要があります。

2　「接続」ボタンをクリックします。

インターネットに自動的に接続し、イシダホームページが表示されます。
L-1000のホームページに移動し、最新のドライバをダウンロードします。

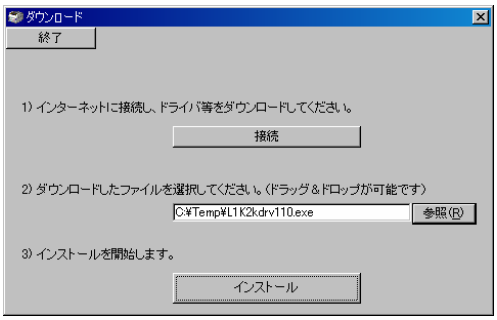


参考

ダウンロードしたファイルをドラッグ&ドロップしても同様の操作が行えます。

3　「参照」ボタンをクリックして、ダウンロードしたファイルを選択します。

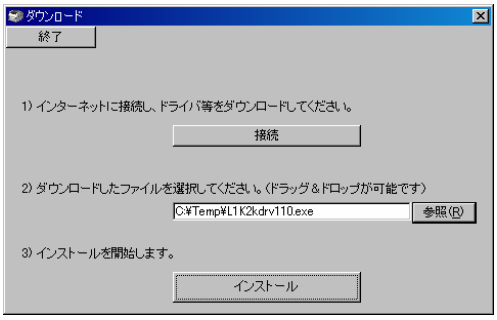
インストールボタンが有効になります。



参照

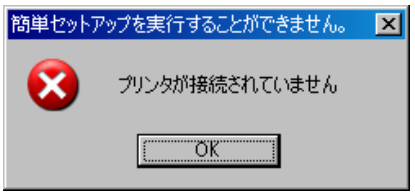
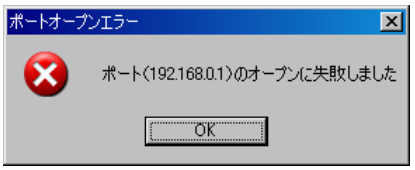
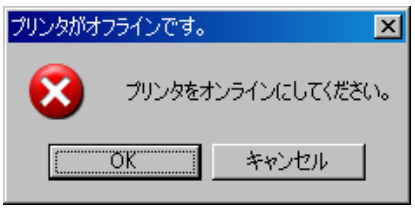
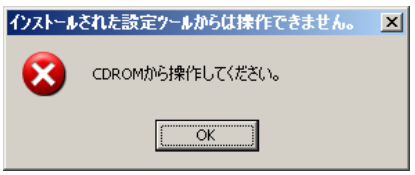
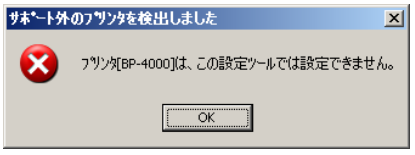
プリンタドライバのインストールについては、26ページ「7.2　プリンタドライバのインストール」を参照してください。

4　「インストール」ボタンをクリックして、プリンタドライバのインストールを行います。



9　エラー一覧

L-1000設定ツールを操作中に表示されるエラー画面について説明します。

エラー画面の表示例	原因	対処方法
 もしくは  （簡単セットアップ時のみ） もしくは  （上の表示はLANの場合）	プリンタの電源が入っていない	プリンタの電源を入れてください
	ケーブルが抜けている	ケーブルを正しく接続してください
	使用するケーブルが間違っている（シリアル接続の場合）	インタリンクケーブルを使用してください（配線などの詳細は、別途インターフェースマニュアルを参照ください）
	プリンタのDipSWの設定が間違っている	プリンタのDipSWを正しくセットしてください
	接続するポートが間違っている（USBもしくはシリアル接続の場合）	接続ケーブルをパソコン側の正しい場所に接続しなおすか、【詳細設定】－【プリンタの選択】－【編集】にて、ポートを再選択してください
	ゲートウエイアドレスが設定されていないもしくは間違って設定されている（ルータを超えたLAN接続の場合）	ルータを超えたLAN接続の状態では、簡単セットアップやネットワーク設定はできません。 一度ルータ内に接続してゲートウエイアドレスを正しく設定してください
	プリンタがオフラインになっている	オフライン状態では、設定ツールは正常に動作しません。 プリンタの【ONLINE】ボタンを押して、オンライン状態にしてください
	複数のプリンタが接続されているのに、【簡単セットアップ】を実行した	1台のみ接続してから行うか、【詳細設定】を使用してください。
	ラベルセンサの設定（透過／反射）が間違っている	ラベルセンサの設定を正しくセットしてください
	ラベルセンサの感度が、使用中のラベルに合っていない	ラベルセンサの自動調整を行ってください。詳細は20ページ「ラベルセンサの自動調整」を参照してください。
	既にパソコンにインストールされている設定ツールから、Adobe Reader、プリンタドライバ、バーコードOLEサーバのインストールを実行した	CD-ROMからインストールしてください
	L-1000以外のプリンタを接続した状態で詳細設定画面に入ろうとした	この設定ツールの詳細設定画面で設定できるプリンタはL-1000のみです。 各プリンタ専用の設定ツールを使用してください。

株式会社イシダ

本社　京都市左京区聖護院山王町４４番地　〒606-8392　TEL.(075)751-1686（直）

東京支店　東京都板橋区板橋１丁目５２番１号　〒173-0004　TEL.(03)3962-6201（直）

取扱店

P/N A0079F 第 6 版